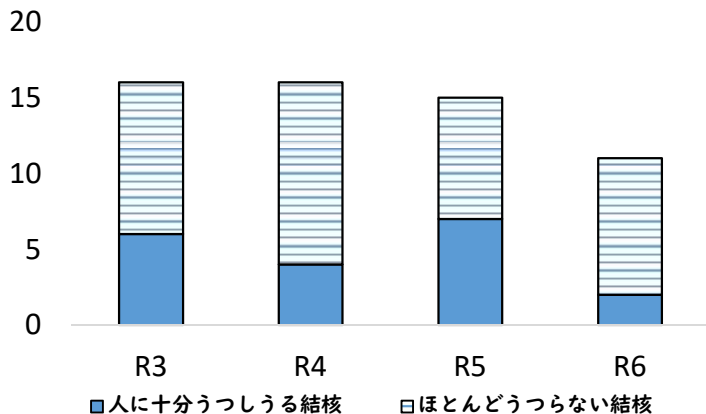


近年の結核患者の動向

近年の麻生区では依然として新規結核患者の半数以上が70代以上の高齢者の方が占めています。また外国人出生者の患者も例年続いています。新規活動性結核患者のうち周囲への影響が大きいのは「ひとに十分うつしうる結核（要入院）」であり、「ほとんどうつらない結核（結核菌に感染しているものの、発病していない状態）」では通常の生活を送りながら、通院し結核治療されている方がほとんどです。進行する前に早期発見し早期治療に結びつけることが大切です。関係者の皆様自身の健康を守るためにも、年に1回は胸部レントゲン検査を受けましょう。

麻生区内新規活動性結核患者



令和7年度

麻生区
結核通信

事業所・施設・学校関係者の皆様へ

日ごろから、結核対策の推進にご協力・ご理解いただき、誠にありがとうございます。結核対策の一層の強化のため、麻生区内の結核の状況についてお知らせします。

発行（R7年8月）
川崎市保健所
麻生支所衛生課
044（965）5163

20代から60代の方は・・・

早期発見



結核は高齢者だけの病気ではありません
健診を受けましょう！



こんな症状があったら・・・

早期受診



- ・2週間以上続く咳・たん・発熱（微熱）
- ・体重減少
- ・食欲不振
- ・だるさ・息切れ・血痰

早期受診し、早期治療につなげましょう！

1. 毎年の定期健診「胸部エックス線検査」
2. 日常の健康チェック・有症状時の早期治療が大切です。

結核定期健康診断について

感染症法の規定により、

- ・医療機関開設者、学校の長、施設の長 は 従事者に対して毎年度
- ・学校の長 は 学生に対して入学した年度
- ・施設の長 は 入所している65歳以上の方に対して毎年度

対象者に胸部X線検査を実施し、それを保健所に報告する義務があります。
検査結果を確認した翌月までに報告してください。

※オンラインでの報告も可能です

オンラインはこちら→



結核の早期発見のために、
結核定期健康診断の実施を
お願いいたします。

